

農家さんの苦勞

福岡県北九州市立池田小学校 六年 敷田 萌綾

私は今まで、果物を食べるだけで果物について調べたり、考えたりすることはありませんでした。ですが、学校の授業でりんごやみかんについて教えてもらい、興味がわいてきました。そこで私は果物はどうやってできるのか気になり図書館やインターネットで調べてみることにしました。

まずりんごについてです。りんごを作るために、りんごの花に花粉をつけなければいけません。つけるのは人間の手だけでなく、蜂もつけます。そのため、りんご農家さんはりんごだけでなく蜂のお世話もしないといけないのです。私はこのことを知って日光と人の力以外にも力が必要なことが分かりました。そして花が散った後、りんごの実が実っていき前よりもっと日光を当てなければいけません。その時に、地面に銀色のシートを敷いて日光が下からも当たるようにします。私は果物狩りに行った時、地面に何か敷いてあるなとしか思っていませんでした。でも本を読んで、農家さんが美味しい果物を作るために使った努力の証みたいなものなんだなと思いました。他にも、ぶどうやみかんについて調べてみました。みかんは昔祖父が作っていたから簡単そうだなと思っていたけど、枝を切ったり実を切ったりしてとても大変なことが分かりました。ぶどうも、種なしと種ありで少し作り方が違っていておどろきました。

私は調べる前までどうやってできるか知らなかったから、きれいな果物ばかりを選んでいました。だけど調べてみて、農家さんは真夏の暑さや真冬の寒さに負けずたくさんの努力をしてくれているんだと思い、形だけで選ばないようにしようと思えました。また、果物は腐りやすいから、食べれる分だけ買って果物を捨てないようになろうと思いました。たくさんの人に農家さんの努力を知ってもらい、果物を食べてほしいなと思います。